学校だより　ホームページはこちらから→

くすのき

２月号

令和５年１月３１日

横浜市立本牧南小学校

校　長　谷口　なおみ

めざす子どもの姿　元気いっぱい、やさしさいっぱい、何でもチャレンジ南っ子！

目標を立てる、やってみる、振り返る、そして改善する

副校長　針持　拓郎

「１月は行く、２月は逃げる、３月は去る」とはよく言ったもので、あっという間に令和５年もひと月が過ぎました。まもなく立春。暦の上ではもうすぐ春ですが、未だ厳しい寒さが続いています。

後期後半が始まってすぐ、１、２年生は教室で硬筆、３年生以上の児童は体育館で毛筆による書き初めを行いました。一筆一筆を丁寧に、始筆からとめ・はね・はらいまできちんと意識した文字に、子どもたちの新年に向けた思いが込められているようでした。

新しい年の始まりに当たり、様々な目標を立てたことと思いますが、自分の中で気をつけているのは、「××をしない。」という否定の形ではなく、「〇〇をする。」という前向きな形でのめあてをもつことです。例えば、学校生活でよくある「廊下を走らないようにする。」は「廊下は歩く。」、「おしゃべりをしない。」は「静かにする。」、「ふざけない。」は「場に応じた適切な行動をする。」など、その方がより目指す姿がはっきりとするのではないかと考えます。また「がんばる」や「しっかりやる」のような抽象的な言葉ではなく、具体的に「やること」を明確にするようにも心掛けています。

目標が決まったら、あとは実行するのみ……なのですが、達成が難しいからこその「目標」なので、なかなかすぐに改善はできません。それでも常に意識して、一歩一歩前進していくことが大切なのだと自分に言い聞かせて取り組んでいます。

さて、令和５年は始まったばかりですが、令和４年度はここからいよいよまとめに入ります。２月と３月を合わせた授業日数は、36日。６年生は卒業までさらに少なくなります。まさに「逃げて、去る」月。ここから、昨年４月、あるいは10月に立てた目標を振り返り、令和４年度１年間の成長を確かめていく時期となります。少しずつでも自分が目指した姿には近づけているでしょうか。そして次にどんなことに気をつけていけばよいでしょうか。

学校も、1年間の活動を振り返り、その反省から来年度の方針や取組を考えています。より子どもたちが安心して、生き生きと、主体的に活動できるには何をどのようにしていけばよいか、学校評価アンケート等での保護者の皆様の意見も参考にしながら、職員一同、様々な意見を出し、話し合いを重ねています。学校運営上で今年度の反省をもとにした、いくつかの変更点も出てくると思いますが、ぜひご理解をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。